

マーケットサウンディング調査結果

1. 調査概要

ウォーターPPP への参加意欲や事業スキームの方針に対する意見など、「事前ヒアリング調査」の結果を踏まえ、より具体的な意見を聴取し、ウォーターPPP 導入の可能性検討に活用することを目的に、マーケットサウンディング調査を実施した。

2. 実施日

マーケットサウンディング調査期間は以下のとおりである。

アンケート調査票送付日	令和7年12月8日(月)
アンケート回答締切日	令和7年12月25日(木)

3. 実施方法

マーケットサウンディング調査実施要領及び調査票を我孫子市ホームページにて公開した。

4. 調査内容

設問 No.	設問内容
1-1	官民連携事業への参画実績に関する質問
1-2	本市が検討するウォーターPPP への参画意欲に関する質問
1-3	ウォーターPPP の実施方針に関する質問
1-4	その他ご意見・ご要望等に関する質問
2-1	費用の削減可能性に関する質問

5. 回答状況

マーケットサウンディングの回答結果を以下にまとめて示す。複数の業種から 26 社の参加があった。

6. 回答結果

・基本情報

貴社の業種区分について、あてはまるものに○をつけてください

➤ 回答者数：26社

業種は建設業が最も多く、次いで維持管理、コンサルタント業が多い結果となった。

表 1 業種区分

	業種区分				
	建設	維持管理	コンサルタント	メーカー	その他
回答件数(件)	10	6	6	3	2

※複数回答の企業があったため、企業数と回答数は異なる

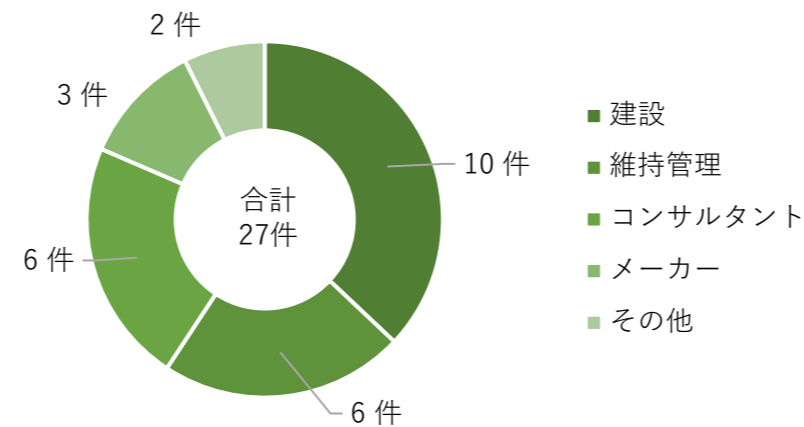


図 1 業種区分

6.1 官民連携事業への参画実績に関する質問

1-1 貴社は他の自治体において、官民連携事業（ウォーターPPPだけでなく包括的民間委託やDBOなども含む）の参画実績はございますか。あてはまるものに「○」をつけてください。

➤ 回答者数：26社

回答者のうち、参画実績ありとなしの事業者は同数であった。

表 2 官民連携事業の参画実績

	参画実績あり	参画実績なし
回答件数(件)	13	13

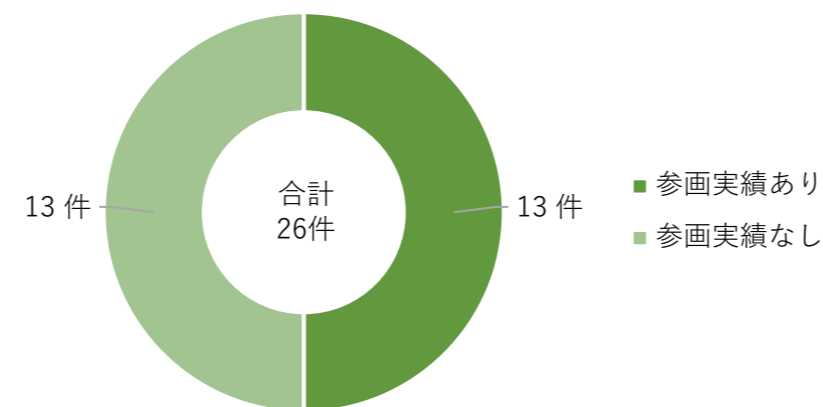


図 2 官民連携事業の参画実績

1-2 1-1にて官民連携事業に参画した際の体制（貴社の立場）について、あてはまるものに「○」をつけてください。（複数選択可）

➤ 回答者数：13社

グループの構成企業として参画した実績のある事業者が13件と最も多く、次いでグループの代表企業として参画した事業者が6件という結果となった。

表3 官民連携事業に参画した際の体制

	単独で参画	グループの代表企業として参画	グループの構成企業として参画	グループの協力企業（下請け含む）として参画
回答件数（件）	1	6	13	1

※複数回答の企業があったため、企業数と回答数は異なる

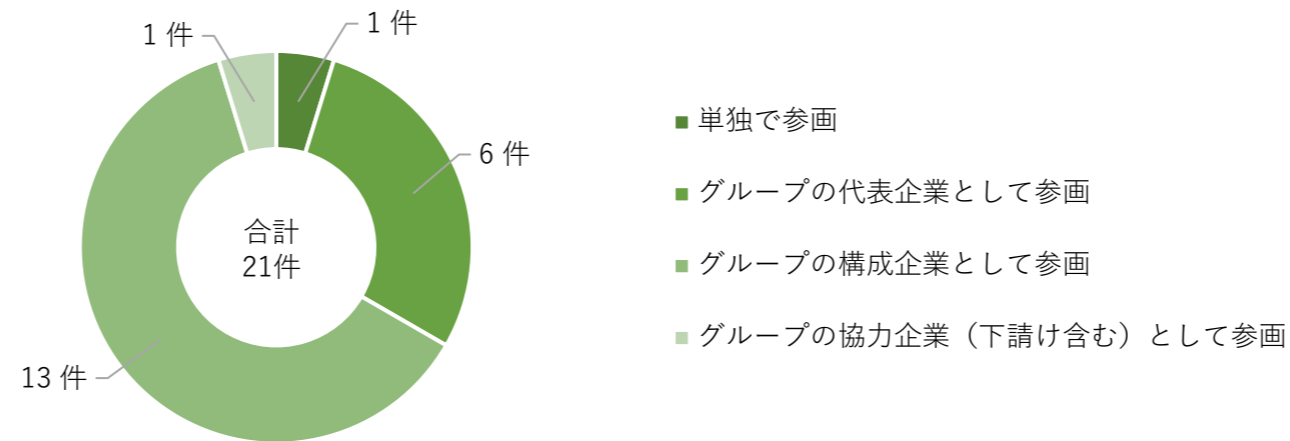


図3 官民連携事業に参画した際の体制

6.2 本市が検討するウォーターPPPへの参画意欲に関する質問

2-1 本市が検討するウォーターPPPについて、参画の意欲をお持ちでしょうか。あてはまるものに「○」をつけてください。

➤ 回答者数：26社

「非常に意欲がある」または「意欲がある」と回答した企業は15社であり、全体の約6割という結果であった。一方、「自社の事業領域から乖離する」、「業務量や金額が不明確なため判断できない」といった意見も見られた。

表4 ウォーターPPPへの参画意欲

		非常に意欲がある	意欲がある	意欲がない	どちらでもない
回答件数 (件)	全企業	6	9	3	8
	★うち市内企業	0	3	2	2
	うち市内企業以外	6	6	1	6

★市内企業：我孫子市内に本社を置く企業

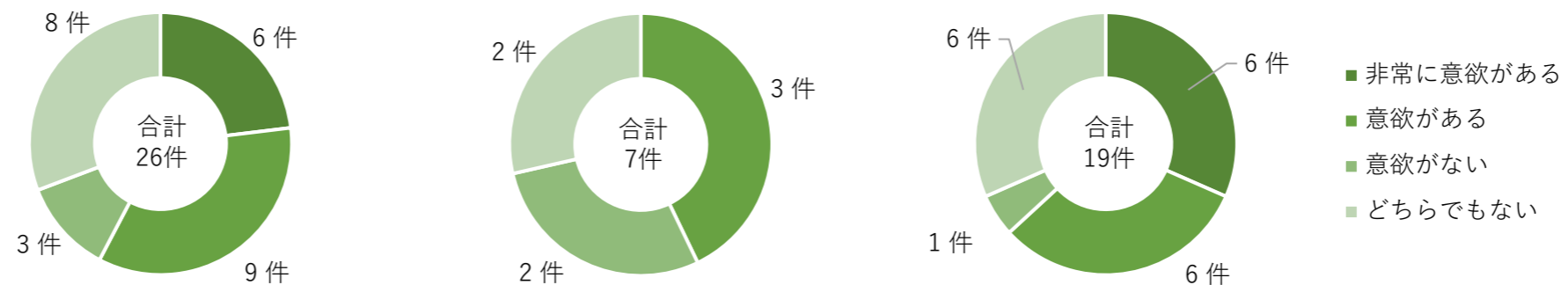


図4 ウォーターPPPへの参画意欲（左図：全企業、中央図：市内企業、右図：市内企業以外）

2-2 本市が検討するウォーターPPPに参画する場合、希望する組織形態について、あてはまるものに「○」をつけてください。

➤ 回答者数：26社

JVを希望する回答が14件と最多であり、次いで「自社の事業内容と乖離する」、「担当業務や事業費、リスク分担等によって体制が異なるため現段階では判断できない」といった理由からわからないと回答した件数が12件という結果となった。

表5 希望する組織形態

		単独での参画を希望	JVを希望	SPCを希望	わからない
回答件数 (件)	全企業	1	14	2	12
	★うち市内企業	0	1	0	6
	うち市内企業以外	1	13	2	6

※複数回答の企業があったため、企業数と回答数は異なる

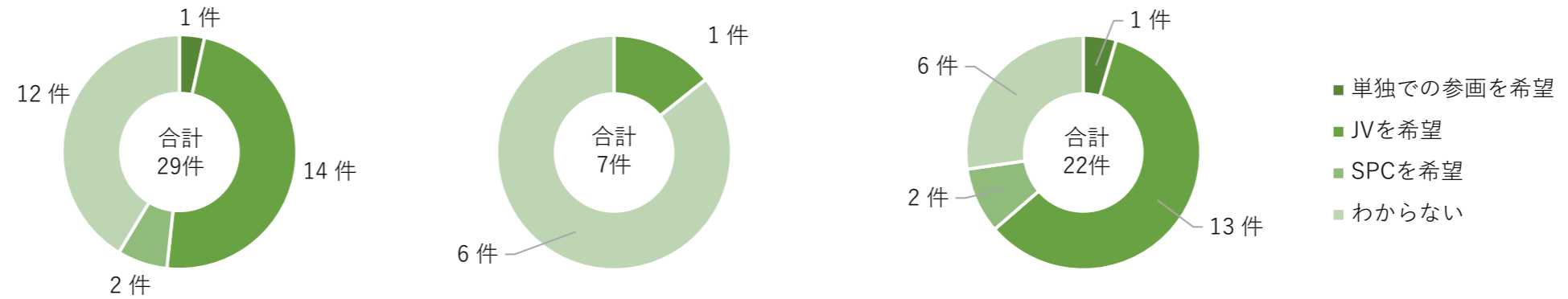


図5 希望する組織形態（左図：全企業、中央図：市内企業、右図：市内企業以外）

2-3 本市が検討する事業のうち、参画意欲のある事業スキーム・事業形態として、あてはまるものに「○」をつけてください。（複数選択可）

➤ 回答者数：25社

更新実施型と更新支援型を希望する企業が11件と同数であり、コンセッション方式を希望する企業は0件であった。

表6 参画意欲のある事業スキーム

		コンセッション方式	更新実施型	更新支援型	その他	わからない
回答件数 (件)	全企業	0	11	11	3	6
	★うち市内企業	0	0	1	2	4
	うち市内企業以外	0	11	10	1	2

※複数回答の企業があったため、企業数と回答数は異なる

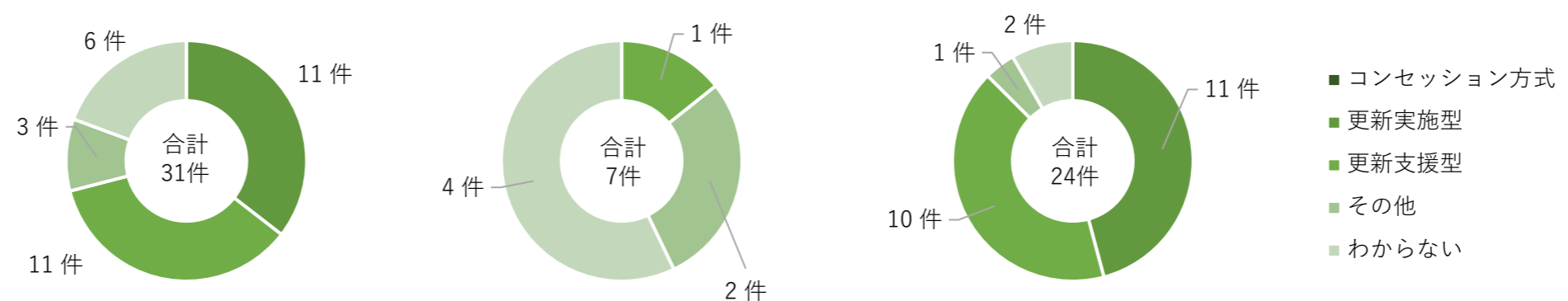


図6 参画意欲のある事業スキーム（左図：全企業、中央図：市内企業、右図：市内企業以外）

2-4 本市がウォーターPPPを導入する場合、どの施設が適切とお考えか、あてはまるものに「○」をつけてください。(複数選択可)

▶ 回答者数：26社

污水管渠（マンホールポンプ含む）の回答数が20件と最多であり、次いで雨水管渠（樋管・樋門含む）14件、各ポンプ場がすべて同数で9件という結果となった。「自社の事業内容と乖離する」、「現在の維持管理状況や求められる要求水準による」といった理由からわからないと回答した企業もあった。

表7 ウォーターPPPの導入が適切と考えられる施設

回答件数 (件)	全企業 ★うち市内企業 うち市内企業以外	管渠			雨水ポンプ場						雨水調整池		
		污水管渠(マンホールポンプ含む)	雨水管渠(樋管・樋門含む)	わからない	布佐ポンプ場	若松第1ポンプ場	若松第2ポンプ場	若松第3ポンプ場	若松第4ポンプ場	わからない	我孫子4丁目調整池	わからない	
		20	14	6	9	9	9	9	9	9	11	8	12
		3	3	4	0	0	0	0	0	0	6	0	6
		17	11	2	9	9	9	9	9	9	5	8	6

※複数回答の企業があったため、企業数と回答数は異なる

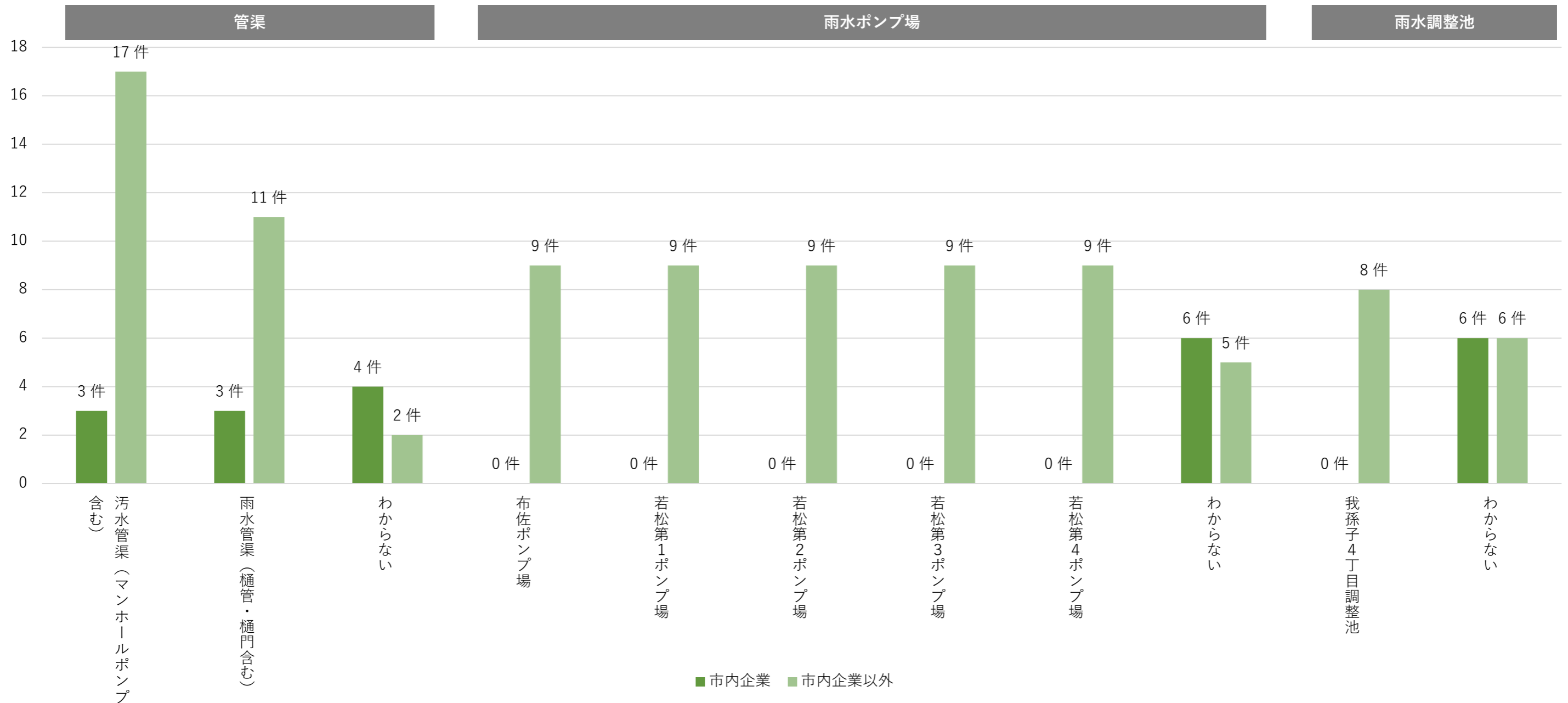


図7 ウォーターPPPの導入が適切と考えられる施設

2-5 本市が検討するウォーターPPPに参画する場合に、想定する体制（貴社の立場）として、あてはまるものに「○」をつけてください。（複数選択可）

▶ 回答者数：25社

グループの構成企業として参画を希望する企業が16件と最も多く、次いでグループの協力企業（下請け含む）として参画を希望する企業が9件という結果となった。

表 8 ウォーターPPP参画時に想定する体制

		単独で参画	グループの代表企業として参画	グループの構成企業として参画	グループの協力企業（下請け含む）として参画	わからない
回答件数（件）	全企業	2	1	16	9	3
	★うち市内企業	1	0	3	4	1
	うち市内企業以外	1	1	13	5	2

※複数回答の企業があったため、企業数と回答数は異なる

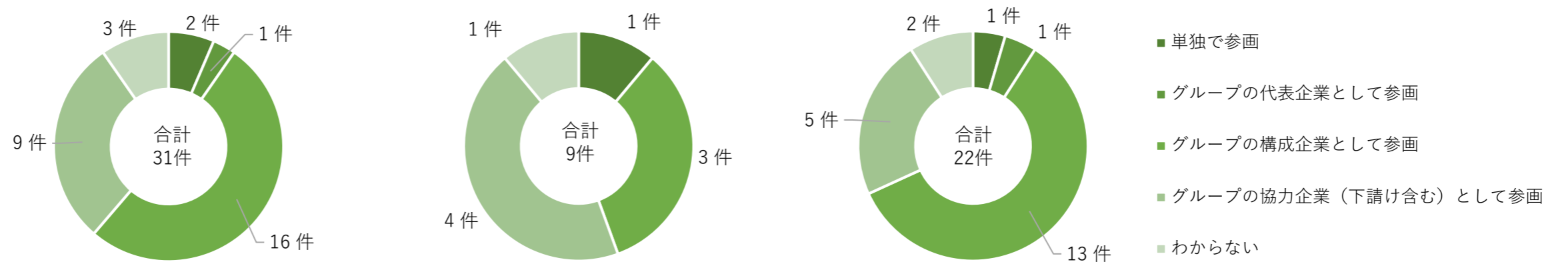


図 8 ウォーターPPP参画時に想定する体制（左図：全企業、中央図：市内企業、右図：市内企業以外）

2-6 本市が検討するウォーターPPPにおいて、参画意欲のある対象業務を教えてください。貴社自体で対応を想定する業務には「◎」を、自社管理のもと協力会社等への再委託を想定する業務には「○」をつけてください。(複数選択可)

▶ 回答者数：24社

汚水管渠の維持管理(調査)の回答数が10件と最も多く、次いで維持管理(修繕)及び改築・更新業務(工事)が9件という結果となった。汚水管渠、汚水マンホールポンプ、雨水管渠(樋管・樋門含む)にかかる業務の回答数が比較的多く、全施設、雨水ポンプ場、雨水調整池にかかる業務の回答数が比較的に少ない傾向となった。

表9 参画意欲のある対象業務

		全施設			汚水管渠													汚水マンホールポンプ									
		統括管理業務	台帳管理・更新業務	台帳情報 コンバート業務 (市のGISへの 情報転送)	維持管理(巡視・点検)	維持管理(清掃)	維持管理(修繕)	維持管理(調査)	不明水対策	緊急対応業務(現地調査)	緊急対応業務(緊急対応)	更新計画(改築)作成	総合地震計作成	地策案	改築・更新業務(設計・積算)	改築・更新業務(工事発注・管理)	改築・更新業務(地震対策工事)	その他	維持管理(巡視・点検・清掃)	維持管理(運転監視・日常管理)	維持管理(異時通報対応)	維持管理(修繕)	更新計画(改築)作成	改築・更新業務(設計・積算)	改築・更新業務(工事発注・管理)	改築・更新業務(工事)	その他
回答件数 (件)	全企業(◎)	5	2	2	4	5	4	8	3	4	3	5	4	3	1	3	1	0	6	3	2	2	5	3	1	0	0
	全企業(○)	0	3	2	1	2	5	2	5	2	3	3	3	4	3	6	3	0	0	1	0	0	2	4	2	5	0
	★市内企業(◎)	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	★市内企業(○)	0	0	0	0	1	3	1	0	0	1	0	0	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
	市内企業以外(◎)	5	2	2	4	5	3	7	3	3	2	5	4	3	1	3	1	0	6	3	2	2	5	3	1	0	0
	市内企業以外(○)	0	3	2	1	1	2	1	5	2	2	3	3	4	3	2	2	0	0	1	0	0	2	4	2	3	0

		雨水管渠(樋管・樋門含む)											雨水ポンプ場														
		維持管理(巡視・点検)	維持管理(清掃)	維持管理(修繕)	維持管理(調査)	緊急対応業務(現地調査)	緊急対応業務(緊急対応)	災害対応業務	更新計画(改築)作成	改築・更新業務(設計・積算)	改築・更新業務(工事発注・管理)	改築・更新業務(工事)	その他	維持管理(巡視・点検)	維持管理(清掃)	維持管理(運転監視・日常管理)	維持管理(異時通報対応)	維持管理(修繕)	緊急対応業務(現地調査)	緊急対応業務(緊急対応)	緊急対応業務(工事調整)	災害対応業務	更新計画(改築)作成	改築・更新業務(設計・積算)	改築・更新業務(工事発注・管理)	改築・更新業務(工事)	その他
回答件数 (件)	全企業(◎)	3	4	3	5	2	3	1	3	1	0	3	0	4	4	2	2	1	3	2	1	1	2	1	0	0	0
	全企業(○)	1	2	4	2	2	3	3	4	5	2	5	0	0	1	0	0	3	0	1	1	2	4	4	2	4	0
	★市内企業(◎)	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	★市内企業(○)	0	1	2	1	0	1	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0
	市内企業以外(◎)	3	4	2	5	1	2	1	3	1	0	3	0	4	4	2	2	1	2	2	1	1	2	1	0	0	0
	市内企業以外(○)	1	1	2	1	2	2	2	4	5	2	2	0	0	1	0	0	2	0	0	1	1	4	4	2	3	0

		雨水調整池											
		維持管理(清掃)	維持管理(運転監視・日常管理)	維持管理(異時通報対応)	維持管理(修繕)	緊急対応業務(現地調査)	緊急対応業務(緊急対応)	災害対応業務	更新計画(改築)作成	改築・更新業務(設計・積算)	改築・更新業務(工事発注・管理)	改築・更新業務(工事)	その他
回答件数 (件)	全企業(◎)	4	1	1	0	3	2	1	2	1	0	0	0
	全企業(○)	1	1	1	4	0	1	2	2	3	2	5	0
	★市内企業(◎)	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
	★市内企業(○)	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	0
	市内企業以外(◎)	4	1	1	0	2	1	1	2	1	0	0	0
	市内企業以外(○)	1	1	1	3	0	1	1	2	3	2	3	0

※複数回答の企業があったため、企業数と回答数は異なる

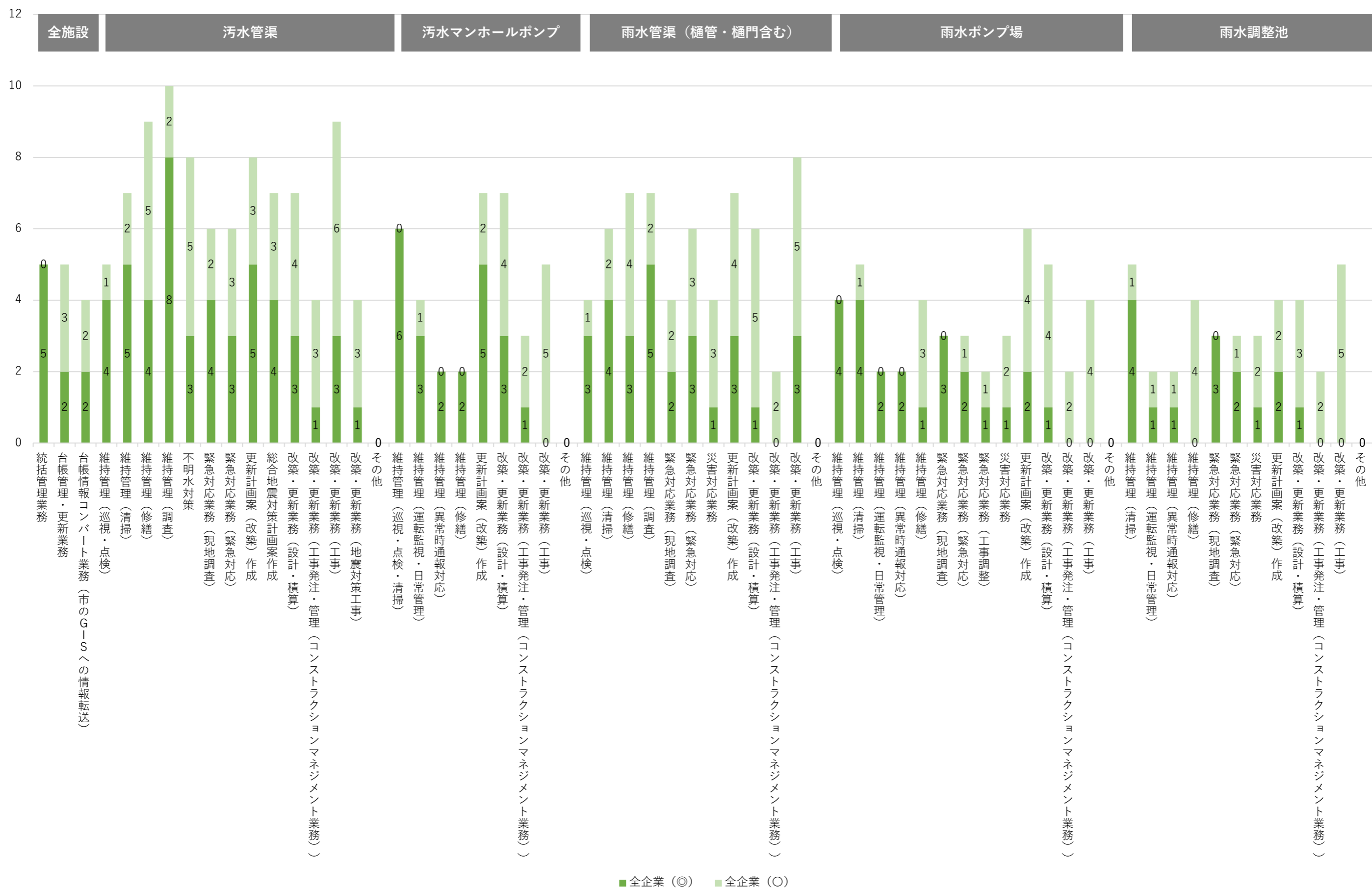


図 9 参画意欲のある対象業務 (全企業)

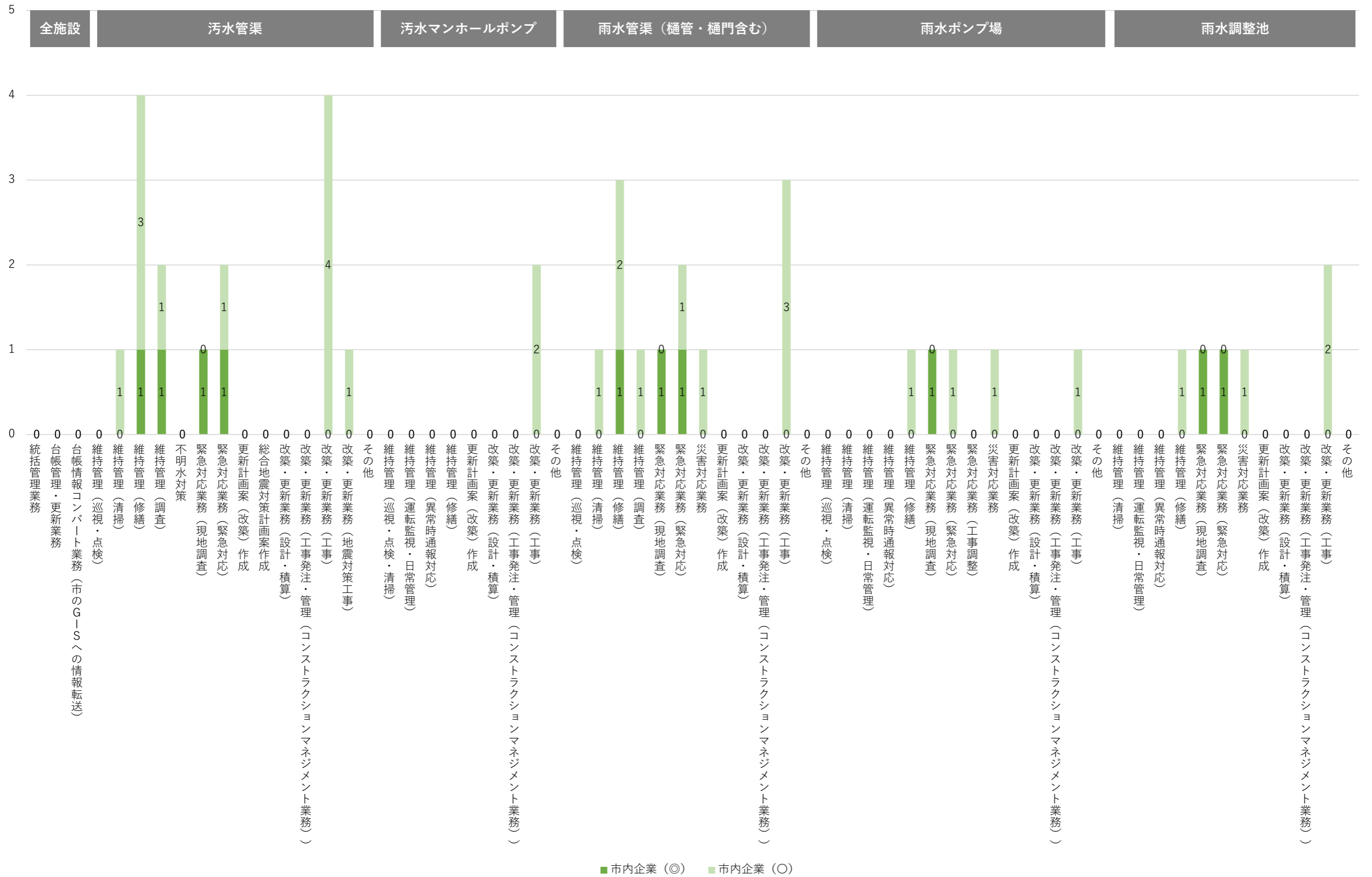


図 10 参画意欲のある対象業務 (市内企業)

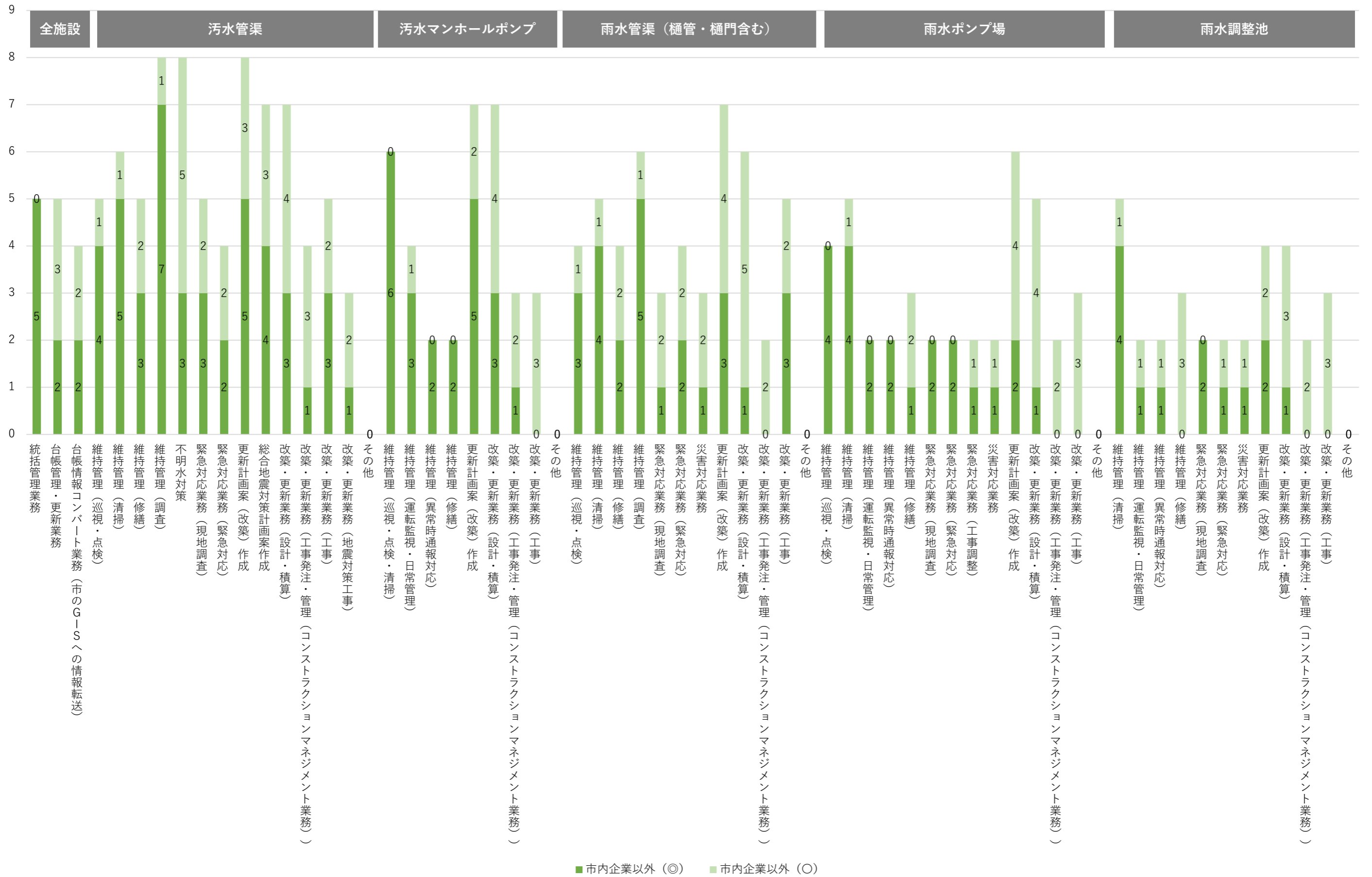


図 11 参画意欲のある対象業務 (市内企業以外)

6.3 ウォーターPPPの実施方針に関する質問

3-1 プロフィットシェアにおいて、適切だと思われる比率についてどのようにお考えか、あてはまるものに「○」をつけてください。

➤ 回答者数：26社

現段階で判断できない等の理由から「わからない」と回答した企業が10件と最も多く、次いで官：民=0：10が6件、官：民=5：5が5件という結果となった。

表 10 適切と思われるプロフィットシェアの比率

	官：民=0：10	官：民=1～4：6～9	官：民=5：5	官：民=6～9：1～4	官：民=10：0	わからない
回答件数(件)	6	4	5	2	0	10

※複数回答の企業があったため、企業数と回答数は異なる

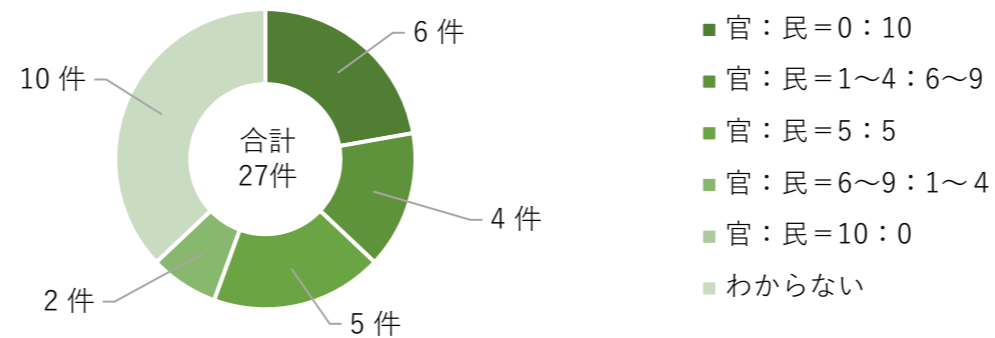


図 12 適切と思われるプロフィットシェアの比率

3-2 本市が検討しているウォーターPPPでは、「更新実施型」を想定しております。貴社が参画される場合、業務の引き継ぎに必要と考えられる最低限の期間について、あてはまるものに「○」をつけてください。

➤ 回答者数：26社

現段階で判断できない等の理由から「わからない」と回答した企業が13件と最も多く、次いで「3か月程度」が4件、「4か月程度」、「6か月程度」と回答した企業が同数の3件という結果となった。

表 11 最低限必要と思われる引継ぎ期間

	3か月未満	3か月程度	4か月程度	5か月程度	6か月程度	6か月以上	わからない
回答件数(件)	1	4	3	1	3	1	13

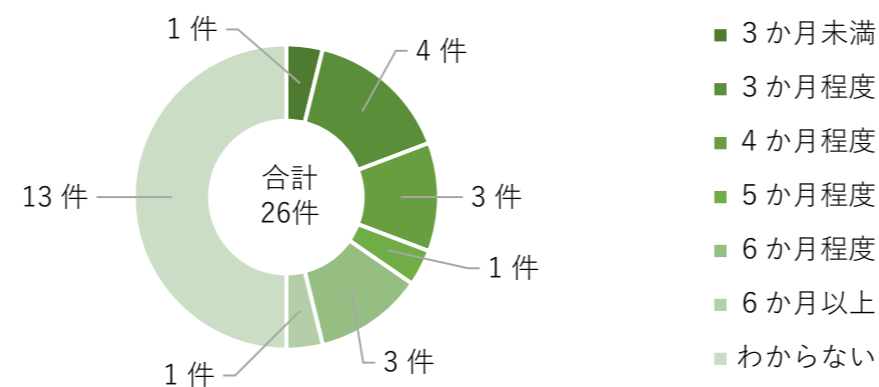


図 13 最低限必要と思われる引継ぎ期間

6.4 その他ご意見・ご要望等に関する質問

4-1 本市が検討するウォーターPPPについて、懸念点や不安な点はございますか。あてはまるものに「○」をつけてください。(複数選択可)

▶ 回答者数：24社

「契約後の物価変動や人件費上昇などへの対応」の回答数が16件と最も多く、次いで「民間事業者間での連携（マッチング）」、「災害時の対応が不安」が13件という結果となった。

表 12 ウォーターPPPに関する懸念点

	官民連携事業に関する知識や経験がない	ウォーターPPP事業に関する知識がない	民間事業者間での連携（マッチング）	中小企業や市内業者との連携が不安	大規模企業との連携が不安	グループ企業を構成したり、構成員になることが困難	業務範囲（更新支援型・更新実施型など）	契約後の物価変動や人件費上昇などへの対応	災害時の対応が不安	管路の性能規定の指標や内容	民間事業者側のリスク負担	プロフィットシェアの配分や内容	公募時に開示される情報内容	現在の運転管理や維持管理に関する情報が不足している	現時点では意思決定の判断材料となる情報が不足している	ウォーターPPPの対象施設や業務範囲によっては、ノウハウ不足などの懸念がある	その他	懸念点や不安点はない
回答件数（件）	6	8	13	11	4	3	10	16	13	7	10	2	4	2	7	7	0	0

※複数回答の企業があったため、企業数と回答数は異なる

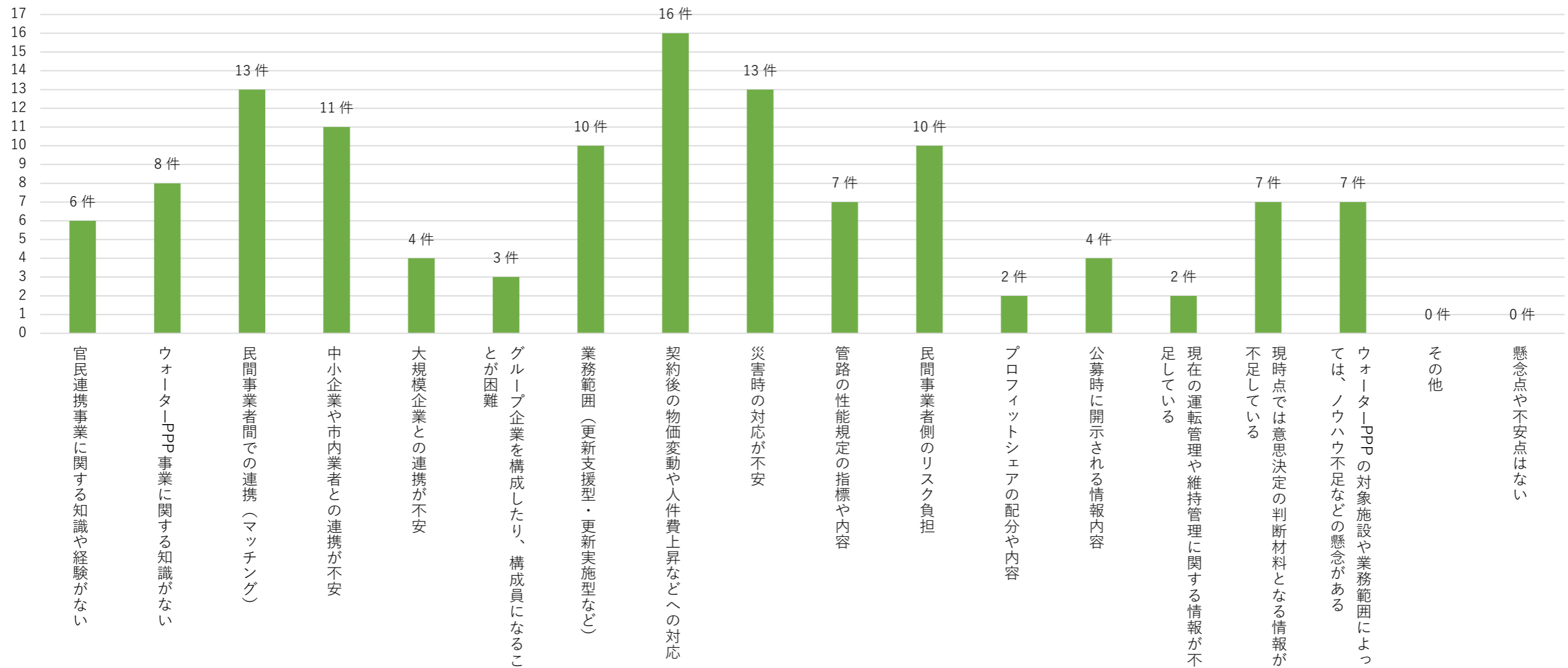


図 14 ウォーターPPPに関する懸念点

6.5 費用の削減可能性について

ウォーターPPPの導入により、民間事業者のノウハウや創意工夫によって事業費の削減が期待されます。貴社の技術やノウハウを活用することで費用削減が見込まれる項目がございましたらあてはまるものに「○」をつけてください。また、「○」をご記入いただいた項目に関しては、費用削減が見込める具体的な手法についてもご記入ください。

▶ 回答者数：14社

費用削減が見込まれる具体的な手法について、多くの意見が寄せられた。

表 13 費用の削減可能性がある業務

施設	全施設				管渠(汚水、雨水)								汚水マンホールポンプ										
	業務分類	維持管理		緊急対応業務	災害対応業務	改築・更新業務(地震対策も含む)			維持管理			改築・更新業務											
業務名	管理・調整業務	台帳情報コンバート業務(市のGISへの情報転送)	巡視・点検	清掃	修繕	調査	不明水対策	現地調査	緊急対応	災害時の現地確認等	更新計画案(改築)作成	総合地震対策計画案作成	設計・積算	工事発注・管理(コンストラクションマネジメント業務)	工事	巡視・点検・清掃	運転監視・日常管理	異常時通報対応	修繕	更新計画案(改築)作成	設計・積算	工事発注・管理(コンストラクションマネジメント業務)	工事
「費用削減が見込める」と回答した件数(件)	2	3	5				5	4		2	3	3	4			3				4	3		

施設	雨水ポンプ場										雨水調整池														
	維持管理					緊急対応業務			災害対応業務	改築・更新業務		維持管理				緊急対応業務		災害対応業務	改築・更新業務						
業務名	巡視・点検	清掃	運転監視・日常管理	異常時通報対応	修繕	現地調査、対応	緊急対応	工事調整	災害時の現地確認等	更新計画案(改築)作成	設計・積算	工事発注・管理(コンストラクションマネジメント業務)	工事	清掃	運転監視・日常管理	異常時通報対応	修繕	現地調査、対応	緊急対応	災害時の現地確認等	更新計画案作成	設計・積算	工事発注・管理(コンストラクションマネジメント業務)	工事	
「費用削減が見込める」と回答した件数(件)	3					1			0	4	2			2					1		1	1	1		

※複数回答の企業があったため、企業数と回答数は異なる

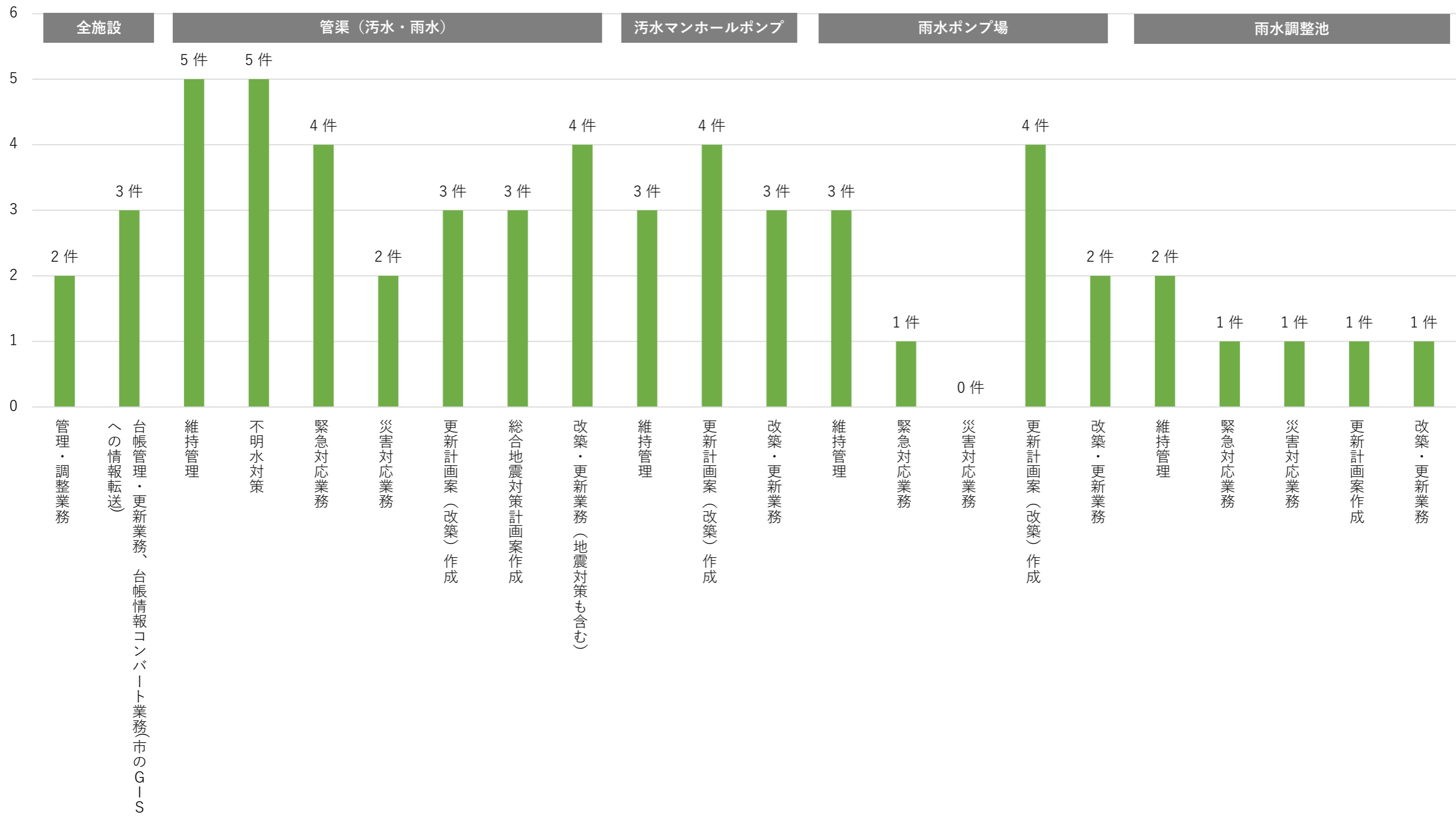


図 15 費用の削減可能性がある業務